

VI 智恵の「都」をつくる 20 文化の振興 (106) 飛鳥・藤原の世界遺産登録

これまでは

平成19年1月 「暫定一覧表」に記載

平成19年～令和元年 推薦書(素案)作成

・世界遺産の登録に必要な環境整備と推薦書内容の検討

○令和2年3月 文化庁へ推薦書(素案)を提出
令和2年以降の国内推薦候補への選定へ立候補しました。

「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の構成資産
(合計20資産)

飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥水落遺跡、酒船石遺跡
飛鳥寺跡、橘寺跡(橘寺境内)、山田寺跡、川原寺跡、檜隈寺跡、
石舞台古墳、菖蒲池古墳、本牛子塚古墳、藤原宮跡、藤原京朱雀
大路跡、大和三山(香具山・畝傍山・耳成山)、大官大寺跡、
本薬師寺跡、天武・持統天皇陵古墳、中尾山古墳、キトラ古墳、
高松塚古墳



飛鳥宮跡(明日香村) 藤原宮跡・藤原京朱雀大路跡(橿原市) 山田寺跡(桜井市)

もっと良くするために

令和6年度に「飛鳥・藤原」の世界遺産登録
を目指します。

○世界遺産への登録推進

・世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協
議会(県・橿原市・桜井市・明日香
村)による登録推進事業の実施



講演会(世界遺産フォーラム)

○(新)「世界遺産ジャーナル」の発行

・県内既登録の3資産と世界遺産の仕組みを紹介
・世界遺産を目指す「飛鳥・藤原」の価値を県・国内外へ
発信

○(新)「飛鳥・藤原」の魅力の発信

・地下に埋もれた「飛鳥・藤原」の価値の魅力や、誰にでも
わかりやすく伝えるためAR・VR等を制作

■目標スケジュール

令和4年度 国内推薦候補に選定

令和5年度 イコモス現地調査

令和6年度 ユネスコ世界遺産登録審議・登録決定

令和3年度予算案 31百万円

R3予算案 30,570千円

■「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推進

○世界遺産への登録推進 (6,270千円)

世界遺産「飛鳥・藤原」登録推進協議会(奈良県・橿原市・桜井市・明日香村)
による世界遺産への登録推進にかかる諸事業の実施

【協議会の取組】

- ・世界遺産登録に必要な**推薦書(素案)等の準備**、文化庁等との調整
- ・国内外専門家等への意見聴取や視察、国際会議等の開催
- ・世界遺産登録への機運醸成を目的としたシンポジウム等の実施



専門家の視察対応



「飛鳥・藤原」講演会

■世界遺産と「飛鳥・藤原」の価値を分かりやすく伝えるために

○「世界遺産ジャーナル」の発行 (2,300千円)

- ・県内既登録の3資産と世界遺産の仕組みを紹介
- ・世界遺産を目指す「飛鳥・藤原」の価値を県・国内外へ発信



飛鳥宮跡

藤原宮跡



■地下に埋もれた「飛鳥・藤原」の構成資産を見えるコンテンツに

○(新)「飛鳥・藤原」の魅力の発信 (22,000千円)

- ・地下遺構のため目に見えない構成資産を先端技術(AR・VR等)により可視化し、「飛鳥・藤原」の価値や
魅力を、誰にでも分かりやすく伝達

令和4年度 国内推薦候補に選定

令和5年度 イコモス現地調査

令和6年度 世界遺産登録 を目標に事業を推進

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部

文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)

VI 智恵の「都」をつくる 20 文化の振興 (107) なら歴史芸術文化村の活用策の検討

これまでの

なら歴史芸術文化村は、令和4年3月の開村に向けて、施設が概ね完成しました。

- 交流にぎわい棟**
 - 農産物の直売・レストラン
 - 伝統工芸品の展示・販売
- 情報発信棟**
 - 県全域の歴史文化資源や観光などの情報発信
- 屋外体験ゾーン**
 - 屋外における体験機会の提供
- 文化財修復・展示棟**
 - 文化財修復過程の公開と保存継承の意義や技術の解説
 - 企画展の開催
 - 保存継承されてきた文化財とその修復技術を体感・体験
 - デジタルアーカイブコーナー
- 芸術文化体験棟**
 - 就学前教育（幼児向けアートプログラム）
 - アーティストとの交流
 - 文化イベントの開催

（令和4年11月撮影）

もっと良くするために

なら歴史芸術文化村での活動内容を精査・検討します。

- 歴史文化資源の活用、芸術文化活動プログラムの展開
文化財の公開修復・VR鑑賞、幼児向けアート体験、アーティストとの交流
- 文化財継承の取組
文化財修復人材育成・助成
- 観光・産業振興の取組
食と農の賑わいコンテンツの構築、伝統工芸のワークショップ など

なら歴史芸術文化村運営の組織をつくり、活動します。

<運営体制(案)>

- 文化財保存事務所(建造物) 福原考古学研究所(考古) 天理市文化財庫(考古) 民間修復団体(仏像・絵画等)
- 運営協議会
- ACCU (エネスコアジア文化センター) 指定管理者 ホテル事業者 関係団体等(観光・農業・工業等)
- 【村長】
- なら歴史芸術文化村事務所
- 情報提供 意見 県事業の企画・調整
- 【チーフコーディネーター】
- 文化村活用プロジェクトチーム
- 文化村の運営及び活用について 実践的な意見を提案
- 文化村を活用(連携)して県の施策を展開 (県庁内に設置)

令和3年度予算案 1,011百万円 [債務負担行為 1,475百万円]

R3予算案 1,010,914千円 [債務負担行為 1,475,000千円]

令和4年3月に「なら歴史芸術文化村」を開村(予定)

“歴史文化資源の活用”と“芸術文化活動の振興”の拠点として、先駆的取組を推進

見る・知る・学ぶ・体験する
～「本物に触れる」ことで、「新たな視点・感性」が生まれる～

世界に誇る奈良の歴史文化に触れる

- 【見る・知る】**
 - 文化財修復過程の公開保存継承の意義や技術の解説
 - 建造物、考古遺物、仏像彫刻、絵画・書跡 など
 - 企画展の開催
修復した文化財の展示 など
- 【学ぶ】**
 - アーカイブコーナー
保存修復記録の集積(修復図面・写真・映像・研究論集など)
 - 人材育成
文化財修復に係る講義・実習 など
- 【体験する】**
 - 保存継承されてきた文化財とその修復技術を体感・体験
体感：さわれる出土品や仏像レプリカのハンズオン展示など
体験：修復作業や古代の製法(銅鑊、勾玉等) など

歴史が息づく環境で芸術に触れる

- 【見る・知る・学ぶ】**
 - アーティストとの交流
制作活動の公開、創作教室 など
 - 文化イベントの開催
文化セミナー・シンポジウム、伝統芸能公演(雅楽等)、音楽演奏会 など
 - 【体験する】**
 - 自由創作コーナー
お絵かき、墨絵、造形など
 - 伝統工芸ワークショップ
奈良筆、奈良墨、吉野手漉き和紙 など
-
- ※イメージ 芸術文化体験棟

奈良の歴史芸術文化を通じ人々が集い・交流

奥深い奈良の魅力に触れる

- 【味わう】**
 - 農産物の直売、産直レストラン
 - 県産食材料理教室
 - 【親しむ】**
 - 伝統工芸品の展示・販売
 - 【奈良を知り・巡る】**
 - 県全域の歴史文化資源や観光などの情報発信
-
- ※イメージ 文化財修復・展示棟
-
- ※イメージ 交流にぎわい棟

① 開村に向けた施設・備品等の整備 (926,099千円、R4～R8債務負担行為 1,475,000千円)

② 開村PR (17,508千円)

- 首都圏等でのプロモーション
- 開村記念イベントの開催 等

③ 歴史文化資源の活用、芸術文化活動プログラムの展開 (28,365千円)

- 文化財修復の公開・解説
- VR等の制作
- 開村記念展の開催
- 幼児向けアートプログラムの実践
- アーティスト誘致 等

④ 文化財継承の取組 (33,042千円)

- 公開・解説を行う文化財の保存、修理に関する補助
- 専門人材の育成 等

⑤ 観光・産業振興の取組 (5,900千円)

- 食と農の賑わいコンテンツの制作
- 伝統工芸のワークショップ 等

<問い合わせ先> 文化・教育・くらし創造部
なら歴史芸術文化村整備推進室 中西室長補佐(内線2510)

VI 智恵の「都」をつくる 21 海外との交流展開 (108) 東アジア地方政府会合の充実発展

これまで

令和2年度において、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、**第11回東アジア地方政府会合及びアジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2020を1年程度延期しました。**

令和元年11月に第10回東アジア地方政府会合を開催し、5カ国40地方政府が参加しました。(テーマは社会保障と観光振興)。

東アジアに共通する課題について実務レベルで議論し、交流を深める会議です。これまで地域振興、社会保障、観光振興、農業農村振興、人材育成などについて議論しました。

東アジア地方政府会合会員地方政府数は、7カ国74地方政府になっています。(令和3年1月現在)



第10回会合の討議風景 会員地方政府間の交流

平成31年1月に「アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2019」を開催しました。

この賞は、経済・社会科学、文化の面で東アジア共同体の形成に資する優れた貢献を行った個人・団体を対象として、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)が本賞発案の地、奈良県において、2年に1回、贈呈する国際賞です。

もっと良くするために

東アジアでのこのようなマルチでの地方政府会合は意味があります。奈良県はかつて**東アジアの隣国から高度な文明をいただいたことに感謝の気持ち**を持って充実発展に努めてきています。

第11回東アジア地方政府会合の開催等(32百万円)

- 第11回東アジア地方政府会合(インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市で開催)へ奈良県代表団を派遣
- 東アジア地方政府会合の会員地方政府が主催する実務者レベルの勉強会の開催を支援
- 東アジア地方政府会合の開催を検討している会員地方政府との協議を進めるとともに、新たな会員の加入を促進
- 東アジア地方政府会合の開催趣旨等に通じるグローバル化社会における人材育成の観点により、日本アスペン研究所と連携したセミナーの開催を支援



西ジャワ州との会合開催の合意覚書締結

アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2021の開催(26百万円)

- 「奈良平城京-ERIAアジアコスモポリタン賞」の第5回受賞を記念して、授賞式及び受賞記念フォーラムを開催



アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム
令和3年度予算案 58百万円

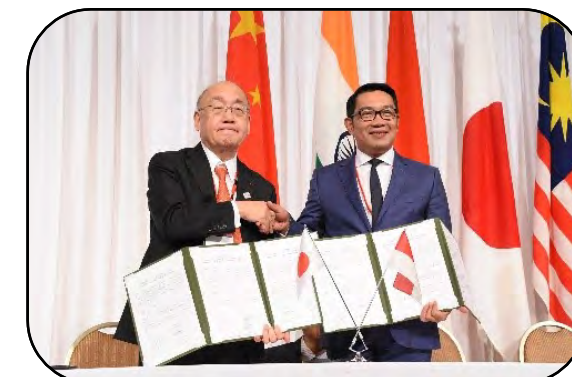
R3予算案 58,213千円

第11回東アジア地方政府会合の開催等(32,463千円)

○グローバル化が進む社会における地方政府の新しい役割を考えるため、東アジアの地方政府が地域の実情を踏まえ、課題を議論し、相互理解を深める**東アジア地方政府会合へ奈良県代表団を派遣**

【R3(第11回)会合概要】

主催	インドネシア共和国西ジャワ州 東アジア地方政府会合事務局(奈良県)
開催地	インドネシア共和国西ジャワ州バンドン市
日程	2021(令和3)年11月11日(木)～13日(土)
テーマ案	※新型コロナウイルス感染症に関連したテーマで検討中
参加政府	会員地方政府(7ヶ国74地方政府)



【西ジャワ州との合意覚書締結】

○会員地方政府との友好・信頼関係の増進や交流等さらなる充実に向け取組を実施

- 会合の開催を検討している会員地方政府との協議
- 新規加入招聘活動の実施、会合関連フォーラムへの参加

○東アジア地方政府会合の会員地方政府が主催する実務者レベルの勉強会や、日本アスペン研究所と連携したセミナーの開催を支援

アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム2021の開催(25,750千円)

○「奈良平城京-ERIAアジアコスモポリタン賞」の第5回受賞を記念して、授賞式及び受賞記念フォーラムを開催



【アジアコスモポリタン賞受賞記念奈良フォーラム】

<問い合わせ先>

知事公室
国際課 秋本課長補佐(内線2536)

VI 智恵の「都」をつくる 21 海外との交流展開 (109) 奈良県の国際交流の強化・拡大

これまで

お互いに学び合う姿勢で国際交流を続けてきています。

奈良県の友好提携先



- ・スイスとの交流の結果、奈良県独自の森林環境管理制度が構築されます。
- ・学生交流、スポーツ交流、文化財保存技術の交流、林業技術の交流、高齢者・介護施策に関する交流などの交流が進んでいます。

林業技術交流（リース林業教育センター）
ベルン応用科学大学校との意見交換（ベルン州）

令和2年度の国際交流は新型コロナウイルスの影響を受ける中で、工夫して国際交流を続けています。

- ・韓国忠清南道等が主催する国際フォーラムにオンラインで参加し、奈良県の取組を発表しました。
- ・中国清華大学と今後の交流を進めるためのWEB会議を定期的に実施しています。
- ・奈良県コンベンションセンターで開催したガストロノミー・リズム国際シンポジウムに、バスクカリナリーセンター校長等がビデオメッセージ等で参加しました。

もっと良くするために

中国陝西省・韓国忠清南道との友好提携10周年記念事業の実施及び新たな交流の展開(36百万円)

- ・友好提携10周年記念事業の実施
 - 県内や忠清南道内での文化イベント及び訪問団の派遣等を実施
- ・次世代養成を目指した青年交流や、専門分野交流、経済交流など新たな交流の展開
 - 両省道との学生らの相互派遣、文化財保護等の専門分野及び経済分野での交流を実施

中国清華大学との交流(16百万円)

- ・文化、教育、産業分野等での交流
 - 専門家交流及び学生交流等の交流事業の調整及び実施



清華大学との包括交流に関する覚書締結

新たな地方政府との交流(12百万円)

- ・ウズベキスタン・サマルカンド州、モンゴル等との新たな友好交流
 - 訪問団の派遣等を実施

NAFICとBCC※(バスクカリナリーセンター)との交流(7百万円)
※BCC…スペインバスク地方にある世界的な1年制の料理専門学校

- 協定の締結及び交流事業を実施

令和3年度予算案 71百万円

R3予算案 71,356千円

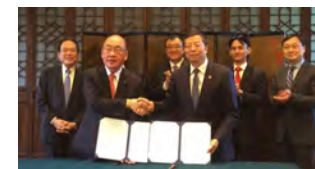
令和3年に友好提携締結10周年を迎える中国陝西省・韓国忠清南道や、包括交流に関する覚書を締結した中国清華大学と、様々な分野での交流を進めるとともに、新たな地方政府等との提携により、新たな人的交流・技術交流を促進し、相互にとって有益な交流を推進

①中国陝西省・韓国忠清南道との友好提携10周年記念事業の実施及び新たな交流の展開 (35,717千円)

- ・友好提携10周年を記念し、県内や忠清南道内での文化イベントや訪問団の派遣等を実施
- ・次世代養成を目指した両省道との青年交流や、文化財保護等の専門分野交流、経済交流などの新たな交流を展開

②中国清華大学との交流 (16,519千円)

- ・奈良県と清華大学との包括交流に関する覚書に基づく、専門家交流や学生交流の実施、展覧会等による文化交流に向けた検討・調整



清華大学との包括交流に関する覚書締結

③新たな地方政府との交流 (11,920千円)

- ・海外の地方政府との関係を構築し、相互にとって有益となる交流を促進するため、ウズベキスタン・サマルカンド州、モンゴル等に訪問団を派遣するなど、新たな友好交流を推進

④NAFICとBCC(バスクカリナリーセンター)との交流 (7,200千円)

- ・美食の街で知られるスペインのバスク州サンセバスチャン市に所在する4年制の料理専門学校BCC(バスクカリナリーセンター)と協定の締結及び交流事業を実施

<問い合わせ先>

- ①②③ 知事公室 国際課 杉村課長補佐(内線2151)
- ④ 食と農の振興部 豊かな食と農の振興課 我妻課長補佐(内線3818)

VI 智恵の「都」をつくる 21 海外との交流展開 (110) 奈良の仏像、文化財の海外展示のこれから

これまでは

これまでの奈良の文化財にかかる海外展覧会開催(ロシア、中国等)に続き、2019年に、フランスギメ東洋美術館(仏像3点)、イギリス大英博物館(仏像等19点)で展覧会を開催しました。

- フランス・ギメ東洋美術館「古都奈良の祈り」展
会期: 2019年1月23日～3月19日(公開48日間)
展覧会来場者: 約3.2万人



- 大英博物館「奈良—日本の信仰と美のはじまり」展
会期: 2019年10月3日～11月24日(公開53日間)
展覧会来場者: 延べ約16万人



○ 海外展示の成果報告の実施

- ・ 記念シンポジウム「古都奈良×大英博物館」
2020年2月7日、於東京・ベルサール飯田橋ファースト
- ・ 写真等による報告展示「奈良の至宝を世界へ」
2020年7月25日～9月22日、於奈良県立美術館 他

もっと良くするために

次期展覧会開催に向けて、奈良の文化資源の国際展開にかかる検討を進めます。
(5百万円)

◆ 国内における準備

- ・ 展示コンセプト・展示構成の立案、出陳候補作品の調査、出陳交渉

◆ 海外交渉

- ・ 米国、中国での展覧会検討
- ・ 候補地との企画調整、輸送・開催運営にかかる調整

展覧会開催以外の手法として、**橿原考古学研究所**を拠点とする研究交流の検討、実施を進めます。(1百万円)

- ・ 海外との協定等に基づく共同研究(中国・清華大学、西北大学、陝西省考古研究院、敦煌研究院等)

令和3年度予算案 6百万円

R3予算案 6,143千円

■ 欧州での開催ノウハウを活かし、奈良の歴史文化を発信する、新たな展覧会を実現

次期海外展覧会に向けた開催準備 (5,000千円)

国内準備: 展示コンセプト・展示構成の立案、出陳候補作品の調査、出陳交渉

海外交渉: 米国、中国での展覧会検討

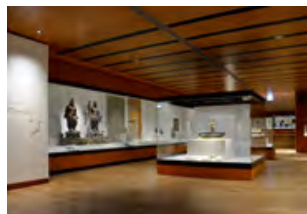
候補地との企画調整、輸送・開催運営にかかる調整

◇ ギメ東洋美術館「古都奈良の祈り」



来場者 約3.2万人
公開日数 48日間
奈良からの出陳作品 3点
うち国宝 1件2点
重要文化財 1件1点

◇ 大英博物館「奈良—日本の信仰と美のはじまり」



来場者 約16万人
公開日数 53日間
奈良からの出陳作品 19点
うち国宝 5件6点
重要文化財 6件10点
大英博物館所蔵品 8点

○ 展覧会開催の検討

会期目標: **R4年度(2022)**以降

展示内容(案):
仏像・考古資料を中心とした、文化交流をテーマに構成

H31/R1 欧州開催

R2 成果報告、開催準備始動

R3 開催準備(企画立案、出陳交渉、開催館交渉)

R4以降 開催

■ 海外研究機関との協定等に基づく共同研究の実施

橿原考古学研究所と敦煌研究院との連携協定締結に向けた協議 (1,143千円)

R3 包括交流協定の締結

R4～ 研究交流の実施

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部
文化資源活用課 通山課長補佐(内線2507)